



PRESS RELEASE

2026-02

Slide Sole Master

スライドソールマスター

横田真一プロ監修 コンセプトは「原点回帰」



株式会社リンクス（代表取締役 木村真一郎）は、横田真一プロ監修の新コンセプトウェッジ「スライドソールマスター」を発売します。このウェッジの核心は「原点回帰」であり、現代のゴルフクラブが過剰な機能追求の末に失った、本来あるべき操作性とスイング矯正能力を取り戻すことを目的としています。



横田プロによるクラブ解説動画 公開中!

横田プロの

経験と問題意識

スライドソールマスターの開発は、ツアーで83ホール連続ノーボギーの日本記録を持つほどアプローチの名手であった横田プロ自身が、後にアプローチイップスに苦しんだ経験に端を発する。

プロは、イップスの原因が「ダフリを恐れるあまり、ボールを右に置き、クラブのリリースができなくなる」という悪循環にあると分析。そして、その根本的な引き金が、現代のウェッジに当たり前のように備わっている「バンス」であると結論付けた。バンスが地面に当たることを嫌う意識が、結果的にスイング全体を歪ませていたのである。

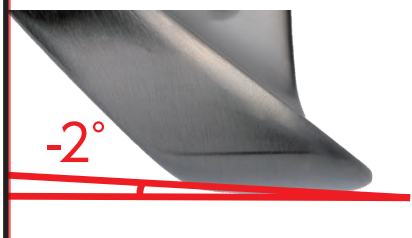
この経験から、「現代のクラブヘッドは、やさしさを追求する名目で“余計なお世話”を焼き、ゴルファーから本来のスイングを奪っている」という問題意識が生まれた。



横田真一プロ

Slide Sole Master

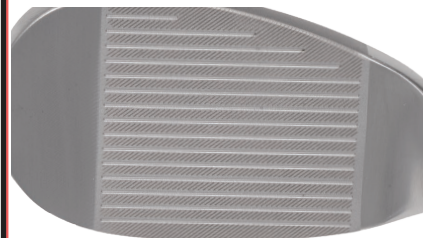
1 -2° の
マイナスバンス角



2 53° のロフト角



3 視覚マジックを応用した
スコアライン



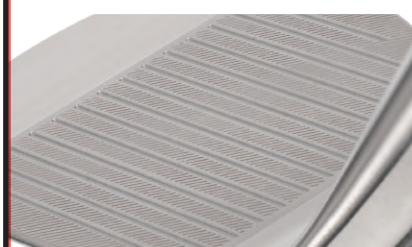
原点回帰

7つのキーポイント

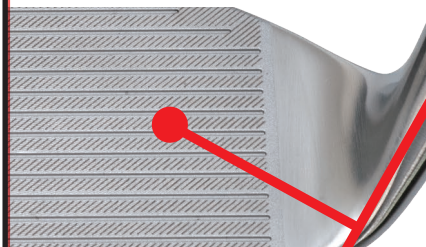
4 開いても滑らない
特殊ミーリング



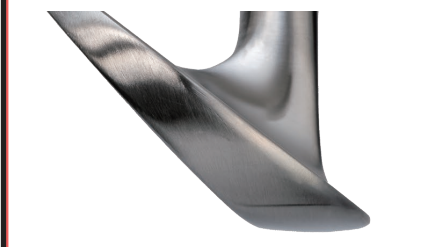
7 多機能性を実現する
ヘッド形状



6 最高水準の
短重心距離



5 極めて浅い
重心設計



毒されたスイングの矯正

バンスという「余計な機能」を取り除くことで、ゴルファーが自らの感覚でクラブを操作する能力を取り戻し、「毒されたスイングが元に戻る」ことを意図している。

バンスへの依存からの脱却

「バンスが多い方がバンカーは簡単」といった通説に疑問を呈し、バンスの本当の役割をゴルファー自身が再発見するきっかけを提供する。このクラブを使うことで、バンスのありがたみを再認識する者と、バンスが不要だったと気づく者に分かれることが予想されるが、どちらの結果もゴルファーの上達に繋がる。



バンス角 -2° のスcoopソール

1 -2° の マイナスバンス角

常識を覆す -2° のバンス角は、製品の核となる設計値である。

効果： バンスが存在しないため、ダフリを恐れてボールを右に置く必要がなくなり、自然とボールをセンターから左足寄りに置くことができる。これにより、正しいインパクトを体得しやすくなる。

2 53° のロフト角

一般的なアプローチウェッジ (50-52°) やサンドウェッジ (56-58°) とは異なる 53° というロフト設定にも明確な意図がある。

効果： ゴルファーに「このまま打つと球が上がらない」と無意識に感じさせることで、ボールを左に置き、フェースを開くなど、球を上げるための正しい動きを自然に引き出す。



Slide Sole Master

3 視覚マジックを応用した スコアライン

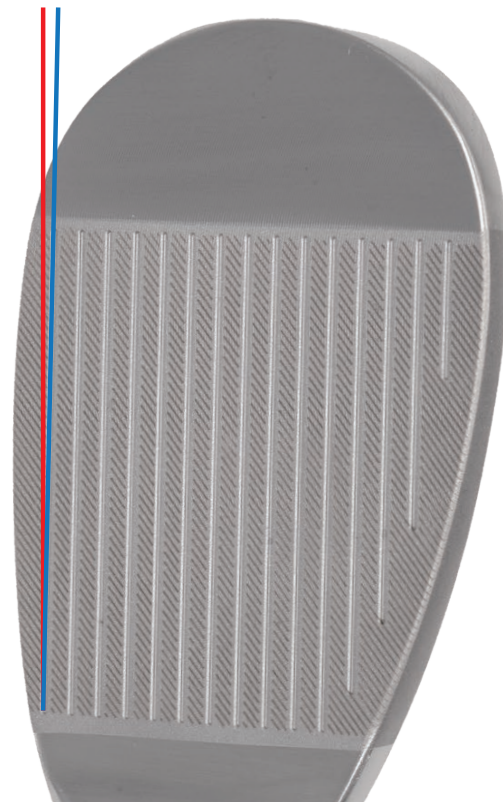
スコアライン（溝）には、正しいスイング軌道を促すための視覚的な工夫が凝らされている。

設計： 溝をわずかに右を向くように傾斜させている。
これにより、構えた際にフェース全体が若干右を向いているように錯覚する。

効果： 人間は無意識に目標に対してスクエアにインパクトしようとするため、この視覚的錯覚が、クラブをインサイドから下ろし、反時計回りに動かす（フェースを閉じる方向への）正しいスイング動作を誘発する。

補足： リーディングエッジはストレートに近く（わずかにフック）、構えにくさを感じさせないように配慮されている。

1° 傾いた
スコアライン

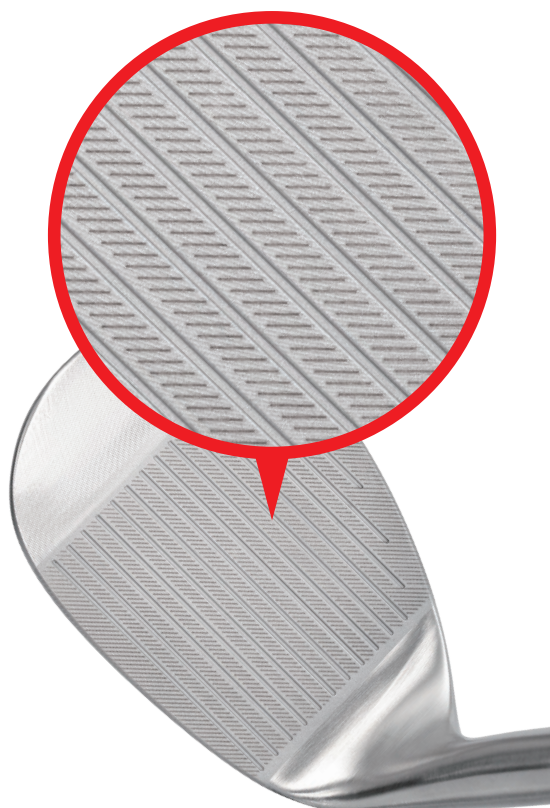


4 開いても滑らない 特殊ミーリング

フェース全面に施されたミーリングは、特殊な方向に刻まれている。

設計： フェースを開いたり、カットに打ったりした際に、ボールが溝にしっかりと食いつくようにミーリングの向きが設計されている。

効果： バンスがないことでフェースを大きく開く場面が増えるが、このミーリングによってスピン性能が損なわれることなく、滑りを抑制する。



5 極めて浅い 重心設計

バターナイフのような薄い形状により、重心が極めてフェースに近い「浅重心」となっている。

効果 1： ダイレクトな操作性：重心が深くなることで生じる「ぼんやりした」感覚がなく、ゴルファーの意図がダイレクトにヘッドに伝わる。

効果 2： 「尻もちをつかない」：インパクト時にヘッド後方が垂れ下がる「尻もち」現象が起きにくく、ソールの抜けが良い。

効果 3： 優れた縦距離のコントロール：非常に高い精度で縦の距離感を合わせることが可能。



バターナイフのような薄い形状で
極めて浅い重心設計

6 最高水準の 短重心距離

ヘッドの重心距離は 26mm と、一般的なウェッジ（35mm）に比べて約 9mm も短い。

設計： ヒールとトゥの高さが変わらないスクエアなヘッド形状と、やや長めに設計されたネックによって実現。

効果： 重心距離が短いことで、ダウンスイング中にフェースが開こうとする抵抗が小さくなる。これにより、ヘッドが暴れずにフェースがまっすぐ前に動く。その結果、ざっくりやトップのミスを大幅に軽減する。



7 多機能性を実現する ヘッド形状

バンスがないことと、リーディングエッジが出っ歯形状になっていることで、1本で多彩なショットに対応できる。

効果： 自在にフェースを開けるため、スクエアに構えれば 53°、少し開けば 56°、大きく開けば 60° のロブウェッジの役割までカバーできる「マルチウェッジ」として機能する。

バンカーショット：

アマチュアが開くことをためらう原因である「バンスの出っ張り」がないため、安心してフェースを開いてバンカーショットに臨める。マイナス 2° から開くことで、最適なバウンス角（約 5°）を生み出すことが可能。



アプローチに悩むゴルファー

ざっくり、トップ、シャンクといったミスに悩み、アプローチイップスに陥っているゴルファーが最も恩恵を受ける。

提供価値：「難しいクラブ」ではなく、「正しい打ち方に導いてくれるクラブ」として機能する。このクラブで練習することにより、バンスに頼り切っていた誤ったスイングが矯正され、ゴルフ全体のレベルアップが期待できる。

上級者・探求心の強いゴルファー

高い操作性を求める競技者や、クラブの機能とスイング理論の関係性を深く探求したいゴルファーにも響く。

提供価値： バンスの本当の意味や使い方を再考する「考えさせられるウェッジ」。極めてコントローラブルな性能は、より繊細なボールコントロールを可能にする。

今まで通り普通に打ったらそれは刺さるよ。激刺さりしますよ。それって結局打ち方悪いわけよ。

悩み別動画



マルチに使える 53°



バンカーでお悩みの方



アプローチでお悩みの方



距離感の合わない方



スペック

	オリジナル スチール	MODUS WEDGE 105 仕様	DG S200 仕様
ロフト角 (°)	53	53	53
ライ角 (°)	62	62	62
バンス角 (°)	-2	-2	-2
クラブ長さ (インチ)	35	35	35
バランス	D0.5	D1	D1.5
クラブ重量 (g)	465	455	470

素材

■ヘッド素材：ステンレス+ レーザーミーリング



■グリップ：オリジナルラバーグリップ



■シャフト：

オリジナルスチール



MODUS WEDGE 105



DG S200



プライス

■メーカー希望小売価格：オープン

※MADE IN CHINA

■JAN：

4580185024252 Lynx Slide Sole Master IC 53°ORIGINAL STEEL
4580185024597 Lynx Slide Sole Master IC 53°MODUS WEDGE 105
4580185024603 Lynx Slide Sole Master IC 53°DG S200

Slide Sole Master